



平成28年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 日本化薬株式会社

コード番号 4272 URL <http://www.nipponkayaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 政信

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 下山 政行

TEL 03-6731-5841

四半期報告書提出予定日 平成27年8月6日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第1四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第1四半期	39,846	1.2	5,687	△3.8	6,083	0.8	4,710	23.6
27年3月期第1四半期	39,358	6.2	5,910	9.8	6,034	△6.0	3,812	△7.8

(注) 包括利益 28年3月期第1四半期 7,669百万円 (95.9%) 27年3月期第1四半期 3,914百万円 (△39.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第1四半期	26.00	25.99
27年3月期第1四半期	21.04	21.02

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第1四半期	278,957	204,967	68.7
27年3月期	265,126	199,680	70.4

(参考) 自己資本 28年3月期第1四半期 191,607百万円 27年3月期 186,659百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,300	8.0	11,900	9.2	12,400	△0.9	7,900	△0.7	43.60
通期	176,000	8.7	25,000	12.1	25,600	1.7	18,000	15.0	99.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期1Q	182,503,570 株	27年3月期	182,503,570 株
28年3月期1Q	1,313,590 株	27年3月期	1,309,888 株
28年3月期1Q	181,190,860 株	27年3月期1Q	181,215,750 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（平成27年4月1日から平成27年6月30日まで）の世界経済は、米国では緩やかに回復しており、欧州ではギリシャ債務問題など地政学的リスクなど懸念はあるものの全体的に景気の持ち直しが見られました。中国および新興国では成長の速度が緩やかになったものの安定的に成長しています。日本経済は個人消費に持ち直しの兆しが見られ、雇用情勢の改善などもあり緩やかな回復基調が続きました。

このような状況の中、当社グループは平成25年度よりスタートさせました中期事業計画“**Challenge 100A!**”の成長シナリオと中長期重点課題に取り組み、重点事業への経営資源の最適配分、既存事業の用途拡大、海外展開の強化に加え、収益体質の強化を目指し、一層のコストダウンを推進しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、機能化学品事業が前年同四半期を下回りましたが、医薬事業、セイフティシステムズ事業が前年同四半期を上回ったことにより、398億4千6百万円と前年同四半期に比べ4億8千7百万円（1.2%）増加しました。

営業利益は、販管費の増加により、56億8千7百万円と前年同四半期に比べ2億2千2百万円（3.8%）減少しました。

経常利益は、為替差損の減少などにより60億8千3百万円となり、前年同四半期に比べ4千8百万円（0.8%）増加しました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、固定資産売却などにより47億1千万円と前年同四半期に比べ8億9千8百万円（23.6%）増加しました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

【機能化学品事業】

売上高は179億2千5百万円と前年同四半期に比べ6億8千9百万円（3.7%）減少しました。

機能性材料事業は、半導体封止材用エポキシ樹脂、液晶シール材が減少したため、機能性材料事業全体で前年同四半期を下回りました。

デジタル印刷材料事業は、インクジェットプリンタ用色素、感熱顕色剤が、前年同四半期を下回りました。機能色素は前年同四半期を上回りました。デジタル印刷材料事業全体では前年同四半期を下回りました。

色材事業は、繊維用染料および捺染用色素が前年同四半期を上回りました。紙用染料は前年同四半期を下回りました。色材事業全体では前年同四半期を上回りました。

触媒事業は、アクリル酸製造用触媒およびメタクリル酸製造用触媒の出荷が低調で前年同四半期を下回りました。

ポラテクノグループは、染料系偏光板や無機偏光板ProFluxの販売が好調で前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は20億8千9百万円と前年同四半期に比べ5億1千万円（19.7%）減少しました。

【医薬事業】

売上高は121億7千2百万円と前年同四半期に比べ3千5百万円（0.3%）増加しました。

国内向け製剤は、「フィルグラスチムBS注」（G-CSF製剤）、「バクリタキセル注NK」（抗がん薬）、「カルセド注」（抗がん薬）が伸長しました。一方、「オダイン錠」（抗がん薬）、「ヘパスフィア」（血管内塞栓材）が前年同四半期を下回りました。国内向け製剤全体では、「インフリキシマブBS点滴静注用」（抗体薬）、「ゾレドロン酸点滴静注液」（骨吸収抑制薬）、「オキサリプラチン点滴静注液」（抗がん薬）等の新製品も寄与し、前年同四半期を上回りました。

輸出は、エトポシド類（抗がん薬）、ブレオ類（抗がん薬）が前年同四半期を下回り、全体では前年同四半期を下回りました。

国内向け原薬は、医薬品原料、醗酵品原料が前年同四半期を下回り、全体では前年同四半期を上回りました。

診断薬は、前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は19億9千5百万円と前年同四半期に比べ2億9千8百万円（17.6%）増加しました。

【セイフティシステムズ事業】

売上高は85億1百万円と前年同四半期に比べ13億4千9百万円(18.9%)増加しました。

国内事業は消費税増税前需要増の反動があった前同四半期に比べ堅調に推移し、エアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータ共に前年同四半期を上回りました。

海外事業は北米・欧州市場が堅調だったことに加え、新興国での自動車安全部品への需要拡大などによりエアバッグ用インフレーター、シートベルトプリテンショナー用マイクロガスジェネレータ及びスクイブはそれぞれ前年同四半期を上回りました。

セグメント利益は16億5百万円と前年同四半期に比べ1億8千5百万円(13.1%)増加しました。

【その他】

売上高は12億4千6百万円と前年同四半期に比べ2億7百万円(14.3%)減少しました。

アグロ事業は、国内、輸出ともに前年同四半期を下回りました。

不動産事業他は、前年同四半期を下回りました。

セグメント利益は6千9百万円と前年同四半期に比べ1億3千1百万円(65.5%)減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

総資産は2,789億5千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ138億3千万円増加しました。主な増加は有価証券79億8千3百万円、たな卸資産60億5千7百万円、投資有価証券17億9千6百万円であり、主な減少は現金及び預金17億7千1百万円であります。

負債は739億8千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ85億4千3百万円増加しました。主な増加は長期借入金75億3千4百万円、支払手形及び買掛金19億4百万円、短期借入金18億9百万円であり、主な減少は未払金25億7千9百万円であります。

純資産は2,049億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ52億8千6百万円増加しました。主な増加は親会社株主に帰属する四半期純利益47億1千万円、その他有価証券評価差額金13億2千6百万円、為替換算調整勘定12億6百万円、非支配株主持分3億3千9百万円であり、主な減少は配当金の支払22億6千4百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の当社グループを取り巻く経営環境は、世界経済は米国では引き続き堅調に推移し、中国では緩やかながらも継続的な成長が期待されます。日本経済は雇用・所得環境の改善傾向が続く中で、緩やかに回復してゆくことが期待されます。

このような状況において、当社グループは事業環境の変化に対応できる強固な財務体質を構築するとともに、グローバルな成長市場で既存ビジネスの拡大と新事業・新製品の展開を加速させ、収益の拡大を図ってまいります。

なお、平成27年5月11日に公表いたしました平成28年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「固定資産の譲渡及び業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、
当第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、当第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第1四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益、また、当第1四半期連結会計期間末の資本剰余金に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	36,099	34,328
受取手形及び売掛金	51,600	50,525
電子記録債権	807	780
有価証券	7,412	15,395
商品及び製品	24,131	25,842
仕掛品	1,987	2,020
原材料及び貯蔵品	9,258	13,573
その他	10,017	9,969
貸倒引当金	△32	△30
流動資産合計	141,282	152,404
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	38,055	39,225
機械装置及び運搬具（純額）	20,658	21,485
その他（純額）	22,863	21,351
有形固定資産合計	81,576	82,061
無形固定資産		
のれん	281	241
その他	2,369	2,324
無形固定資産合計	2,650	2,565
投資その他の資産		
投資有価証券	33,631	35,428
退職給付に係る資産	4,049	4,534
その他	1,821	1,825
貸倒引当金	△84	△50
投資その他の資産合計	39,418	41,738
固定資産合計	123,646	126,365
繰延資産	198	187
資産合計	265,126	278,957

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,060	14,964
短期借入金	5,409	7,219
未払金	10,762	8,183
未払法人税等	1,724	1,153
関係会社整理損失引当金	431	27
その他	7,525	7,765
流動負債合計	38,915	39,312
固定負債		
長期借入金	9,518	17,052
退職給付に係る負債	358	376
負ののれん	0	—
その他	16,652	17,247
固定負債合計	26,530	34,676
負債合計	65,445	73,989
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,932	14,932
資本剰余金	17,265	17,266
利益剰余金	139,457	141,902
自己株式	△938	△944
株主資本合計	170,717	173,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,460	12,786
為替換算調整勘定	4,336	5,542
退職給付に係る調整累計額	145	119
その他の包括利益累計額合計	15,941	18,448
非支配株主持分	13,021	13,360
純資産合計	199,680	204,967
負債純資産合計	265,126	278,957

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
売上高	39,358	39,846
売上原価	22,515	22,908
売上総利益	16,842	16,937
販売費及び一般管理費	10,932	11,249
営業利益	5,910	5,687
営業外収益		
受取利息	14	13
受取配当金	244	271
負ののれん償却額	36	0
持分法による投資利益	85	68
その他	198	185
営業外収益合計	580	538
営業外費用		
支払利息	48	33
為替差損	245	7
その他	162	102
営業外費用合計	456	143
経常利益	6,034	6,083
特別利益		
固定資産売却益	0	1,010
関係会社株式売却益	—	51
特別利益合計	0	1,062
特別損失		
固定資産処分損	73	127
特別損失合計	73	127
税金等調整前四半期純利益	5,961	7,017
法人税、住民税及び事業税	1,142	1,587
法人税等調整額	651	374
法人税等合計	1,793	1,961
四半期純利益	4,168	5,056
非支配株主に帰属する四半期純利益	356	345
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,812	4,710

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)
四半期純利益	4,168	5,056
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	340	1,324
為替換算調整勘定	△606	1,310
退職給付に係る調整額	14	△24
持分法適用会社に対する持分相当額	△1	2
その他の包括利益合計	△253	2,613
四半期包括利益	3,914	7,669
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,622	7,216
非支配株主に係る四半期包括利益	292	452

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学 品事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	18,615	12,137	7,152	37,904	1,453	39,358	—	39,358
セグメント間の内部売上 高又は振替高	39	—	—	39	29	68	△68	—
計	18,654	12,137	7,152	37,944	1,483	39,427	△68	39,358
セグメント利益	2,600	1,697	1,419	5,717	200	5,917	△7	5,910

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△7百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△36百万円、セグメント間取引消去28百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注)3
	機能化学 品事業	医薬事業	セイフティ システムズ 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	17,925	12,172	8,501	38,599	1,246	39,846	—	39,846
セグメント間の内部売上 高又は振替高	47	0	—	47	33	81	△81	—
計	17,973	12,172	8,501	38,647	1,280	39,927	△81	39,846
セグメント利益	2,089	1,995	1,605	5,690	69	5,759	△72	5,687

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、アグロ事業、不動産事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△72百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△78百万円、セグメント間取引消去5百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。